

平成28年度 建設部 施策展開方針 計画書

1. まちづくり政策（建設部関係分）

政策 05 都 市 基 盤	政策展開の方向性							
	市民が暮らしやすく、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。 駅を中心としたぎわいのある拠点を創出し、子どもから高齢者、障がいのある方までだれもが安心して過ごすことのできる計画的な市街地整備の推進や、安全で快適な道路環境の確保と公共交通の活性化などによる交通環境の充実によって、暮らしやすさを実感できるまちに向けた都市基盤の形成を進めます。							
	平成28年度に向けての展開方針 （方針や重点事業の計画等を記載）							
	05-01 市街地整備の推進							
	<ul style="list-style-type: none"> ・江別の顔づくりでは、様々な都市機能が集積した中心市街地の形成を目指して、着実な基盤整備の推進を図り、中心市街地の活性化を進めています。平成28年度は、野幌駅南通(第2工区)の用地買収等や野幌駅前南口広場等を整備し、駅周辺における土地利用の増進を図ります。 ・市営住宅整備の推進では、住宅困窮者のセーフティネットを基本に、子育て世帯や高齢者が安全に安心して暮らせるよう住戸を整備していきます。平成28年度は、新栄団地C棟(48戸)の建設に着手します。 ・住みかえ支援の推進では、多世代同居・近居支援による人口転出抑制、多子世帯支援による転入促進・転出抑制を図り、高齢・多子世帯の定住化を進めます。平成28年度は、住宅取得等にかかる費用の一部助成を開始します。 							
	05-02 交通環境の充実							
	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で快適な道路環境づくりでは、未整備の百間境道路の整備に取り組みます。平成28年度は、よつば保育園に隣接する元野幌274号道路の歩道造成や、狭あい部の解消整備に着手します。 ・冬期間の交通の確保では、市民協働による雪対策の充実と、除排雪の効率化の促進に取り組みます。平成28年度においても、市・委託業者・自治会による三者懇談会を引き続き開催するなど、市民ニーズの把握に努めながら、除排雪事業の推進と改善を図ります。 							
	政策の成果指標		単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標
	市街地整備に満足している市民割合(顔づくり、公園、バリアフリー化、上下水道等)		%	76.7	77.1			↗
	交通環境に満足している市民割合(道路環境、除排雪事業、公共交通)		%	57.9	60.8			↗
建設部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況								
「江別の顔づくり事業(街路事業等)」 事業進捗率(累計)		%	13	16			↗	
「江別の顔づくり事業(野幌駅周辺土地区画 整理事業)」 事業進捗率(累計)		%	45	63			↗	
「新栄団地建替事業」 建替戸数		戸	48	48			↗	

2. えべつ未来戦略(建設部関係分)

戦 略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
戦 略 1 とものつくる協働のまちづくり	
戦 略 2 えべつの将来を創る産業活性化	
戦 略 3 次世代に向けた住みよいえべつづくり	■3B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり (えべつ版コンパクトなまちづくり) 「江別の顔づくり事業(野幌駅周辺土地区画整理事業)」 (都心区画整理課) 「住宅取得支援事業」(建築指導課)
戦 略 4 えべつの魅力発信シティプロモート	

3. 建設部の資源

		実績	予算額			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
歳出予算額 (千円)	一般会計 (A)	4,735,036	5,002,792	4,886,326		
	特別会計 (B)	0	0	0		
	合計 (A+B)	4,735,036	5,002,792	4,886,326		
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	74	74	75		
	平均単価 (b)	7,853	7,822	7,651		
	人件費 (a×b)	581,122	578,828	573,825		
総 額		5,316,158	5,581,620	5,460,151		